

01

Saga Monodukuri ★その他の卸売業

実施年度：平成29年度補正

革新的サービス

一般型

溝田農材株式会社

代表者 溝田 誠

資本金 5,000万円

住 所 佐賀県唐津市浜玉町大江23-1

設立年月 1986年7月

連絡先 TEL 0955-56-8870 FAX 0955-56-6515

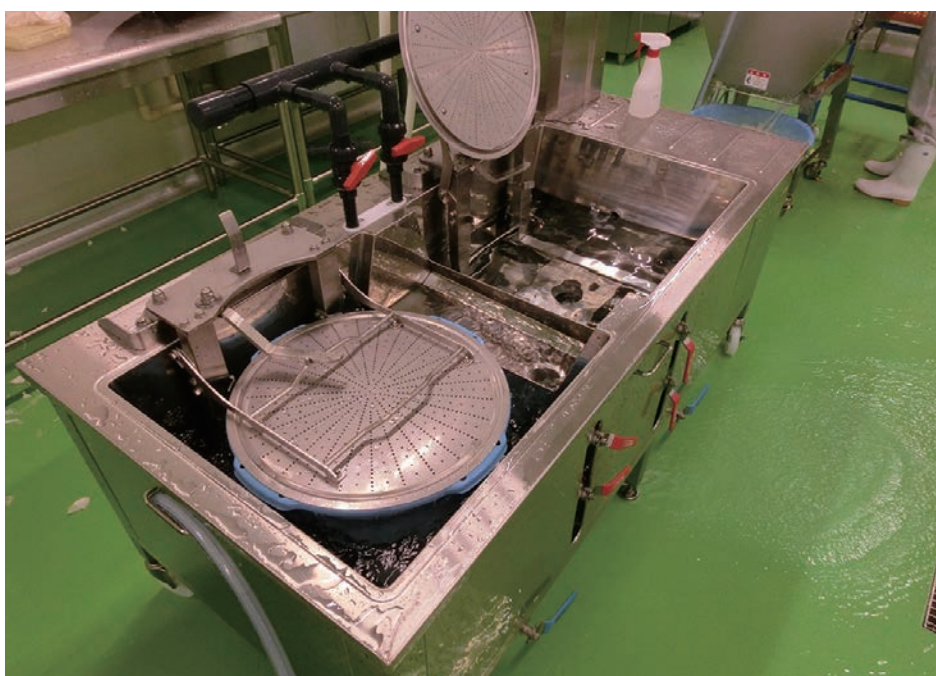
従業員 58人

URL <https://www.mizota-agri.com/>

地産地消型野菜加工施設事業

当社は農業用ハウス・ハウス設備の設計施工、施設園芸資材の販売を通じて地域農業に貢献してまいりました。2019年にはカット野菜工場の操業を開始し、地域雇用の創出や農家支援等によりいっそう努めております。高い生産性を持つ工場とするために、機械装置や設備を導入することで人員不足の問題を解消し、さらには雇用の間口を広げました。今後もお客様に安全・安心な野菜を届け、地域農業の未来につなげることを目指していきます。

代表取締役
みづた まこと
溝田 誠



本事業への取り組みの経緯

カット野菜工場設立の目的は、農業生産者の最大の利益と消費者の最高の満足を追求することです。当社では青果物の取り扱い実績と経験値があり、卸売業者としての権利を有しているため、市場流通の取引に加え、市場外流通に関しても農業生産者と販売元の仲介を行ってきました。この強みを生かしてカット野菜工場を運営していきたいと考え、設立計画を進めてきました。これまで青果を納品してきた顧客への長年のヒアリングにより、地域の食関連施設における人員不足やヒューマンエラーの発生などの問題点が見えてきました。問題を解決するために、カット野菜工場に高性能の青果加工機械装置を導入し、野菜の加工段階に応じて処理室や冷蔵庫などを設置することを決めました。



実施内容（取り組みの詳細）

カット野菜工場に設置した機械装置は、殺菌庫・フードスライサー・高速脱水機・フードダイサー・ロータリーシール機・ベルト式真空包装機・ベルトコンベヤ・ウェイトチェッカー・計量ラベラーです。生産性の高い野菜加工ラインを実現し、加工作業を請け負うことで「地域での野菜処理加工の一元化」を当社が担い、人員不足を解決すると共に、当社の顧客拡大と売り上げ増を目指しました。導入した機械はいずれも誰もが安全かつ簡単に操作できるため、雇用の間口を広げることが狙えます。さらに、衛生管理の徹底のために野菜の加工段階に応じて処理室を分け、従業員が処理室内で作業することで汚染物質の持ち込みを防ぐ計画を実行しました。また、野菜の処理段階に応じた冷蔵庫を設置することで、安全でおいしい食品を永年にお届けできる体制を整えました。



取り組み成果・波及効果

機械装置や設備等、ハード面の導入によって、カット野菜の品質保持と高い生産性が実現できました。従業員のマンパワーを旬の食材の管理等へ注ぐことによって、顧客満足度の高いカット野菜工場として稼働できております。また、処理室の計画的な整備によって工場内では必ず一方向のみで野菜が移動するオペレーションを実現したことで、衛生管理の徹底と従業員の作業効率化が実現できました。福祉施設や病院の他、食品製造業にカット野菜を供給することで、調理業務の効率化に大きく寄与しております。



Q1 御社について教えてください。

A 当社は、1984年創業以来、北部九州エリアで農業用ハウス及び関連資材の販売を行ってまいりました。最近ではカット野菜の製造販売も手がけるようになりました。地域の農業への貢献をモットーに業務に精進しています。



Q2 今後の課題はありますか？

A カット野菜事業を軌道に乗せるとともに、農家との接点の拡大、農産物の定量的な仕入ができる体制づくり。



今後の展望・活動予定

工場の操業後にHACCPを取得し、安全性について以前にも増して厚い信頼を得られるようになりました。カット野菜の需要は今後も伸びることが予測されます。地元野菜を使用する割合を増やすことで地産地消の取り組みを強化すると共に、地域での雇用増を実現していきたいです。最近は大規模調理施設の他、唐津市近辺の小規模飲食店への納品も増えました。当社のカット野菜工場では規格外の野菜も受け入れておいしいカット野菜を生産することで、形やサイズでなく「品質への信頼」を求める消費者に満足いただくことを目指しています。食品取扱業者として地域貢献を進めてまいります。

